

分野別意見交換会報告書【総務常任委員会】

日 時：令和6年(2024年)6月13日(木) 午前10時30分～午前11時45分

場 所：箕面市役所 本館3階 委員会室

団 体 名：箕面市商工会議所、箕面市商店会連合会、箕面 FM まちそだて株式会社、
公益財団法人箕面市メイプル文化財団、社会福祉法人箕面市社会福祉協議会
の各実務担当者

出席委員：(委員長) 川上加津子 (副委員長) 楠 政則
(委員) 神田隆生、山根ひとみ、藤田貴支、内海 辰郷

傍聴者数：7名(委員外議員7名)

テーマ：「AIオンデマンド交通実証運行について」

(1)共創プロジェクトについて(プラットフォーム参加者からの共創案)

番号	項目	内容
1	公益財団法人 箕面市メイプル文化財団	市から指定管理を受けている施設をお出かけ先としていただき、よりよい事業を展開し参加していただくこと。また、広報活動での協力や施設でのデマンド交通のお問い合わせなどにも対応できると思う。
2	箕面商工会議所	市内約1,200の商店さんが会員となっているが、コロナ禍で疲弊しているのが現状で、そんな商店、ひいては地域活性化に向け、情報収集・発信をしていきたい。また、要望となるが、乗降場所の選定には、熟慮いただくことと、イベント時の増便、アプリなどで地域のお店と交流できる機能があれば、なお良いと思う。
3	箕面市商店会連合会	商店会連合会としては、箕面に10ヶ所、加盟組織がある。今年度は、設立50周年ということもあり、特に力を入れているので、商店街の近くに乗降場所を設定していただくことで、相乗効果が期待できる。なお、広報やPRといった点で協力できる。
4	箕面 FM まちそだて 株式会社	今年で開局30周年となる。タッキー816では、様々な媒体で箕面の情報発信をしているので、やはり情報発信が主な内容となる。例えば、街かどレポーターさん(市内20名ほど)に実際に、オンデマンド交通を利用していただいて、その感想を市民の方の声として発信するなどを考えている。
5	社会福祉法人 箕面市社会福祉協議会	社協としては、福祉的な観点やニーズを反映することで協力していける。移動支援については、支援が必要な人の、どの層をターゲットにして、スキームを組んでいくのかということは重要なポイントになると考える。

(2)共創案を受けての質疑・意見

番号	項目	内容
1	高齢者の方への、利用講習会の開催について	利用に関しては、スマートフォンが主流になるために、特に社協さんを中心に、講習会を行うなどの支援をいただければと思う。
2	生活圏域外への利用について	地域によっては、主に他市に生活圏がある地域もあるので、そういった場所への乗降場所の設置が必要。
3	広報のあり方について	9月からの実証運行開始に向けて、特に高齢の方の利用を考えた場合、予約方法を簡単に示したチラシを作成し、敬老事業や敬老会などの案内に活用すれば有効的ではないか。また、ケーブルテレビを広報に活用してはどうか。
4	ニーズの把握及び実証運行の検証方法について	利用者の求めることや、関連する商店などの声などをしっかりと把握することが重要である。また、運行する側は、それらの声を戦略的に活用し、どう繋げていくかが大切。加えて利用状況の検証で、運行を柔軟に対応していくことも必要。
5	個別支援への有効性について	福祉的な観点で、個別支援での利用においては、安価に利用できるため、普段タクシーなど利用している方々については、一つのメリットとなる。

(3)その他

番号	項目	内容
1	更なる利便性の向上について	利便性の向上を図るためには、利用している方のみならず、利用されない方に対する意見聴取を行い、要望を反映していければ、さらに良いものになると思う。
2	利用者特典について	費用の面を考慮すると、やはり利用される方には何らかの特典があれば利用促進につながるので、可能であれば検討してほしい。(利用回数による割引・商店利用に関する割引・ポイント付与など)

以上